

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成19年3月30日	記入者		連絡先	内線2627	
平成18年度部名	保健福祉部	課名	高齢者福祉課	課長名	市川 正美	
平成19年度部名	保険高齢部	課名	高齢者福祉課	課長名	市川 正美	
事務事業名	溪松園施設維持管理事業					
予算上の事務事業名	溪松園					
1 総合計画における位置づけ	施策コード			11220		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政策名	第1章 安心して生活できる福祉社会をつくります					
基本施策名	第2節 いきいきとした高齢社会の創造					
施策名	第2施策 高齢者の社会参加と生きがいづくり					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	相模原市立老人福祉センター条例 相模原市立老人福祉センター条例施行規則					
3 個別計画の概要	概要					
計画名	第3期高齢者保健福祉計画			高齢化が進む中で、高齢者が住み慣れた地域で健康で安心して生活できるよう、施策等の展開を計画するもの。		
計画年次	18	年度～	20	年度		
4 事業形態の区分	施設運営			5 事業開始年度	昭和63年以前	
6 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)					
高齢者が教養の向上と健康の増進を図り、趣味やレクリエーション活動ができる施設で、その施設の運営管理を行う。				(2) 対象(誰、何)		60歳以上の市民
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
年間運営日数・・・347日 年間利用者数・・・49,518人 浴室・会議室・大広間等があり、個人・団体が利用できる。 団体用送迎用として大型バス・個人利用者送迎用でマイクロバスを運行している。 教養講座を開催している。						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況	若竹園施設維持管理事業					
8 事業費の推移	[単位：千円]					
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	37,802	42,318	46,329	48,532	48,532	
一般財源	37,556	42,100	46,107	48,396	48,396	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	246	218	222	136	136	
人件費の合計	15,600	17,997	17,997	17,997	17,997	
事業コスト合計	53,402	60,315	64,326	66,529	66,529	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率	対象名称と単位					
事業名 (主たる事業名)	受付等業務委託の1日あたりの予算比較(千円)			開所日(日)		
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	2,409	2,440	2,401	1,638	1,578	
対象数	318	347	347	348	347	
単位あたり経費(円)	7,575	7,032	6,919	4,707	4,548	
前年度比		0.93	0.98	0.68	0.97	

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	年間利用者数の推移（人）	指標式と指標の説明	年間利用者数 ÷ 目標利用者数		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	44,169.0	48,127.0	49,518.0		
目標	44,000.0	46,000.0	49,000.0	49,500.0	50,000.0
目標達成度（%）	100.4	104.6	101.1		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	1日平均利用者数（人）	指標式と指標の説明	年間利用人数 ÷ 開所日		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	131.0	139.0	143.0		
目標	130.0	135.0	140.0	145.0	145.0
目標達成度（%）	100.8	103.0	102.1		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
B	<input type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性【有・無】					
有	<input checked="" type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
			平成16年度より、正規職員から嘱託職員に切り替え、人件費を削減し、効率的な運営を図っているが、今後指定管理者制度の導入やふれあいセンターへの移行などができるかどうかを検討したい。		
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
<p>・合併を機に、相模湖津久井方面までバスを延伸したり、老人クラブに利用アンケートを取るなど、利用者拡大に向けて、裾野を広げている。</p> <p>・委託している受付補助職員の人数を調整し、少人数で施設運営ができる体制に整えつつある。</p>			<p>高齢者が増える中で、老人福祉センターの施設・設備の見直しや、運営方法について、検討する必要がある。</p>		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
			成果を検証し、効果的な事業実施の方法を検討する。		